

渡辺 博 ひろし

市政報告



仙台市議会 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7の1
TEL 261-1111

自宅 〒983-0841 仙台市宮城野区原町二丁目1の35
TEL 293-2313 FAX 792-9061

公式ホームページ

渡辺ひろし

<http://hiroshidesu.net/>

ごあいさつ

仙台市議会議員

渡辺 博

この一年は市議会議員改選を挟んだ一年となりました。仙台市役所本庁舎建替基本計画を検討する議会の特別委員長として、又決算議会の審査特別委員長として、仙台市の未来の市政運営に関し、また予算執行にあたって効果的、効率的な取り組みが行われたのかを審査し次に生かす重要任務に取り組むことが出来ました。

市長は議会に予算案、決算案そして各種の政策を提案し議会に審査そして議決を求めます。市政運営に過ち無きよう慎重な審査を議会は担い、議員は重大な判断をする責務を負います。

審査にあたり、私は市民の福利の向上に繋がるのか、市政発展に効果的に貢献できるのか、多くの声なき市民のために役立つのか、助けの必要な市民を見逃してはいないか、特に心掛けてまいりました。更に東北の発展に繋がり東北に住む皆さんと共に未来を拓くことに繋がるのかが大事です。政党政派に関わらず是々非々で判断し議決に臨んで参りました。政務活動も以上の視点で強力に推し進め、着実に成果に繋げることが出来たと考えております。

又私の議員としての心構えの基本に、初心を常に意識し大事にして参りました。思い込みや偏見を排除しつつ仙台市および市民が抱える課題を洗い出すことに力を傾注して参りました。更に当選期数の多い優位性を生かし、常に新しい知識を求め研修に励みその成果を市政運営に生かすよう不断の努めを継続し、市政に反映して参りました。更に、出来る限り視察の機会を作り積極的に他都市に出かけ先進的な取り組みについて調査を実施しました。他都市の

現場に足を運び現実を目の当たりにし、表に出にくい失敗例なども担当職員との面談を通して確認することに務めて参りました。百聞は一見に如かず、の例えの通り、担当者のヒアリングを通して得難い情報・アドバイスを頂け、仙台市政に反映することが出来たと思っております。これまでも政務調査を活かし、仙台市で他都市と同様な政策を企画し政策化する際に考慮しなければならない課題については、政務調査の成果を議会での議論に生かし瑕疵のない政策実現に務めました。今回の市政報告も、所属会派が代表質疑を通して市政課題を質したものの、加えて私が課題と思って取り組んでいるものの一部ですが、テーマを絞って掲載いたしました。令和元年第2回定例会、第3回定例会そして第4回定例会、令和二年第1回定例会の質疑質問をまとめて御報告させて頂きます。項目だけになることをお許し下さい。紙面の都合で全てを詳らかに掲載できませんが、詳しくは、仙台市議会ホームページからご覧いただけます。会議録のページから質問者 **渡辺博** で検索して頂きますと議事録、議会録画で質疑応答の具体的なやり取りをご覧いただけますのでご案内申し上げます。

今後とも、仙台市民の福利の向上、安全安心の確保に向けて更に力を入れて取り組んで参ります。引き続きご意見、ご提案を賜りますようお願い致します。

以下、URLで閲覧いただけます。

- ① 仙台市議会 <http://www.gikai.city.sendai.jp/>
- ② 会議録 <http://asp.db-search.com/dsweb.cgi/>
- ③ 質問者 渡辺博

昭和62年4月 初当選 現在9期

プロフィール

仙台市立榴岡小学校
仙台市立宮城野中学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城教育大学 特設教員養成課程(高校数学)一学年修了
東北大工学部卒業

仙台市議会
会派自由民主党

仙台市青葉区国分町 3-7-1 仙台市議会内
☎ 022-214-8716 Fax 022-711-5687
仙台市議会 HP ⇒ <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

会長挨拶

仙台市議会会派自由民主党所属渡辺博議員の仙台市政報告が発刊されるにあたり一言ご挨拶申し上げます。渡辺博議員は仙台市議会の中でもベテランとしてご活躍であります。各定例会で必ず登壇され行政に対して建設的な立場で提言、指摘をして来られました。時代の先を見据えた視点、常に市民の福利の向上、安全安心の確保を基本に考えた政策提言は仙台市政執行に大きな影響を与えています。

昨年八月改選で最大会派自由民主党会派の中でもその豊かな経験と知見を提供され会派にあって縁の下の力持ちの役割を果しておられます。

今年度は仙台市にとって総合計画2030を決定する大事な年にあたります。未来に向けて第一歩を踏み出す重要な年になります。私たち自由民主党会派は仙台市政の課題解決に、会派を挙げて取り組んでまいります。会派にあって、議会にあって大切なメンバーである渡辺博議員に対してご意見ご要望をお聞かせ頂きますようお願い致します。

会長 斎藤 範夫

仙台市議会 自由民主党会派(22人)

会 長	斎藤 範夫	鈴木 勇治
幹 事 長	橋本 啓一	西澤 啓文
政調会長	加藤 和彦	野田 譲
政調会長代理	菊地 崇良	庄司 俊充
会 計	松本 由男	岡部 恒司
幹 事	菅原 正和	跡部 薫
	佐々木 心	村岡 貴子
	高橋 卓誠	千葉 修平
		内藤 良介
		田村 勝
		猪又 隆広

渡辺 博

赤間 次彦
佐藤 正昭

会派基本政策

I 市政に対する基本認識

今日、仙台市を取り巻く状況は、かつてないほどの厳しさに直面しています。少子高齢化の進展、目前に迫りくる人口減少の時代に加え、これまでにない猛暑や豪雨、地震などの自然災害の数々。こうした困難な時代において、仙台市政には大きな決意と実行力が問われています。私たちは、愛する仙台の未来にわたる持続的な発展の実現とともに、市民一人ひとりが住まうことの「誇り」を実感できるまちづくりを目指していくことが求められていると考えます。このような視点に立ち、私ども自由民主党は取り組むべき重点課題として次の6点を掲げます。

- 1 地域経済の活性化と経済政策の推進
- 2 市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進
- 3 全世代にわたる社会保障の充実
- 4 確かな教育の確立と次世代育成策の推進
- 5 未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり
- 6 責任ある都市経営と財政基盤の確立

これら6つの重点課題に対し、以下に掲げる市政推進上の基本的な政策を展開します。私ども、仙台市議会の最大会派である自由民主党は、その責任を自覚しながら市政の諸課題に対し真摯に向き合い、誠心誠意取り組んでまいります。

II 市政推進上の基本的な政策

1 地域経済の活性化と経済政策の推進

- 経済力は市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上など、あらゆる都市の活動を支えるための基盤です。
- 地場産業・中小企業の活性化はもちろんのこと、東北放射光施設の立地決定などのチャンスを最大限に生かす取り組みや、域外からの投資を呼び込む仕掛けづくりなど、地域経済政策をこれまで以上に加速させることで、力強い雇用と消費を実現し、経済の好循環をつくり上げます。

主な取り組み

- (1)産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援
- (2)東北放射光施設の立地や国際リニアコライダの誘致によるイノベーション都市・仙台の実現
- (3)域外からの投資を呼び込む中核都市としての機能強化
- (4)魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺通り、仙台駅前再開発をはじめとする中心部の再生
- (5)仙台の魅力発信と東北の交流人口のさらなる拡大
- (6)付加価値の高い都市型農業づくり

2 市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進

- 自然災害や犯罪など、様々な脅威から市民の生命と財産、生活の営みを守ることが、市政の責任です。
- 未曾有の大震災からの復興を完遂するとともに、防災・減災に戦略的に取り組む強靱な都市づくりを進めます。また、防犯対策や交通安全、空き家対策などに取り組み、安全・安心な暮らしを実現します。

主な取り組み

- (1)復興事業の完遂に向けた復興交付金、東北復興観光対策交付金等の財源確保
- (2)大震災の経験の未来への伝承と防災環境都市の構築
- (3)大規模災害への備えと強靱な都市づくりの推進
- (4)国民保護計画に基づく市民の生命と財産の保護の強化
- (5)防犯、交通安全、空き家対策など市民の安全・安心の充実

3 全世代にわたる社会保障の充実

- 少子高齢化が急激に進む中、多くの市民が不安を抱えている「子育て」と「介護」の問題を解決することが不可欠です。
- 良好な子育て環境づくりを進めると同時に、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、あらゆる世代が安心して暮らし、活躍することのできる「全世代型社会保障」を目指します。
- 国が進める幼児教育の無償化に着実に対応し、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる環境の整備を目指します。

市政推進のための基本的な政策をもとに仙台市長に提言するとともに、年4回の定例会、毎月開かれる常任委員会での質疑を通じ政策の実現に努めています。

主な取り組み

- (1)待機児童解消に向けた保育の受け皿の環境整備
- (2)保育の人材不足や質の確保の取り組みの充実
- (3)幼児教育無償化スタートに向けた環境整備と制度の丁寧な説明
- (4)「のびすく」や児童館の充実など地域子育て支援の強化
- (5)学習・生活サポートなど子どもの貧困対策の推進
- (6)介護サービス基盤の整備と地域での支え合いの充実
- (7)女性の健康保持のための事業等の充実
- (8)障害者の生活を支援する体制づくりと障害理解の促進
- (9)医療や救急体制の充実など市民の健康を守る体制づくり

4 確かな教育を提供します

- 変化の激しい社会経済状況の中、子どもたちがたくましく生きて行くことができる力を育むことの重要性が一層増えています。
- 学力向上に向けた取り組みや良好な教育環境の整備を進めるとともに、いじめ問題への対応、特別支援教育の推進などの教育を取り巻く諸課題にも的確に対応し、確かな教育の提供を進めてまいります。

主な取り組み

- (1)市立小中学校へのエアコン設置など良好な教育環境づくり
- (2)指導手法や指導体制の充実など学力向上策の推進
- (3)幼保小連携の促進による未就学児接続への取り組み
- (4)いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化
- (5)特別支援教育の推進や不登校対策の充実
- (6)社会教育施設の機能強化などリカレント教育の充実

5 未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり

- 仙台が未来に向けて輝き続けるためには、都市や地域の持つ力を最大限に発揮することのできる環境づくりが重要な鍵となります。
- 「杜の都」の環境や文化に一層磨きを掛けるとともに、都市インフラの充実に取り組んでまいります。また、地域課題の解決に自ら取り組む活力ある元気な地域づくりを進めます。

主な取り組み

- (1)「杜の都」の環境保全と緑あふれるまちづくりの推進
- (2)伊達政宗公の歴史・伊達文化を活かした都市の魅力づくり
- (3)暮らしに潤いをもたらす芸術や文化の振興
- (4)きめ細かな地域づくりの取り組みへの支援強化
- (5)道路や交通など活力を支える都市インフラの充実
- (6)本庁舎の建て替えに向けた課題整理
- (7)文化の振興、拠点となる音楽ホール早期建設

6 責任ある都市経営と財政基盤の確立

- 少子高齢化・人口減少時代が迫る中において、持続的に市政の課題に対応するためには、時代の変化を的確に捉えた将来ビジョンとして、議会、市民等と連携しながら総合計画の策定作業を推進し、併せて責任ある都市経営と強固な財政基盤を確立することが不可欠です。
- 財政規律を維持する一方、税収増につながる長期ビジョンを持つ事業等に積極的に予算配分するなど、戦略的視点を持ちながら進めてまいります。
- また、国に対しても、本市の復興を踏まえた実情や基金残高の状況など、厳しい財政状況をしっかりと伝え、財源の確保に努めます。国からの税源移譲や課税自主権の強化など、地方分権の推進を主張してきたこれまでの本市の方針を堅持します。

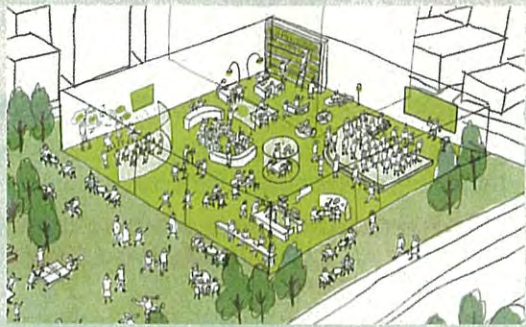
主な取り組み

- (1)人口減少社会の課題に的確に対応する総合計画の策定と、将来に責任を持つ、持続可能な財政運営の推進
- (2)事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化
- (3)徴収体制の強化による市税・国民健康保険料等の収納率向上
- (4)公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進
- (5)ICT、AI、RPAなど先端技術を活用した業務改革
- (6)中核都市の指定獲得と、圏域強化に向けた広域連携の促進

仙台市議会 定例会

一般質問 特別委員会質問

令和元年9月 決算等審査
特別委員会 委員長

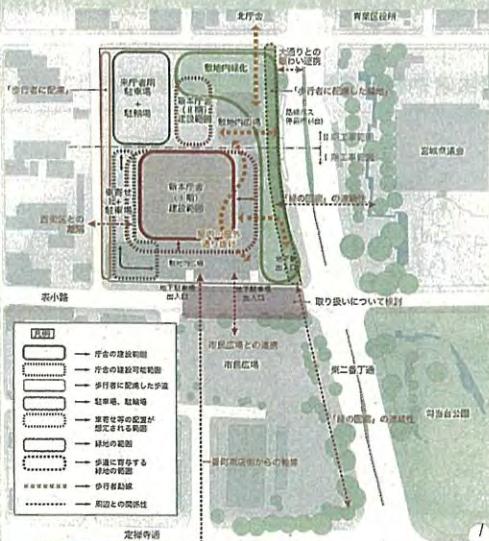


新本庁舎低層部と周辺広場の利用イメージ



新本庁舎の
機能配置イメージ

参考とする
新発田市役所の写真



2019年 第2回定例会 (令和元年6月7日~6月24日)

会派代表質疑

質問者: 渡辺ひろし

道路照明灯の電力契約における不適切事務処理の責任

問 過払い金の財源は貴重な市税であり、市民の納得いく対応が求められる。責任の在り方をどの時点で明らかにするのか、市長に伺う。

答 適正に取り扱うべき公金の支払いに不適切な事務処理があったことは、市民の信頼を著しく損ねるものであり、大変重く受け止めている。東北電力との協議が整い次第、その結果を踏まえて責任のありようも判断し報告する。

施行後の条例についても実効性の点検を

問 いじめ防止条例が施行されて2カ月。教職員や市民に浸透しなければ意味がない。この間、市長が行った具体的な施策と、今後の展開に向けた認識を伺う。

答 4月の合同校長会で、校長が教職員の意識改革を図り、いじめに適切に対応するよう直接伝えたほか、市政だよりや啓発チラシなどで市民周知に努めている。今後、各般からの意見も生かし、より効果的に施策を進めていく。

問 自転車の安全利用に関する条例は市民に浸透しているのか。今後の取り組みについて伺う。

答 街頭啓発やラジオ広報、イベント等により、保険加入とヘルメット着用の周知に努め、自転車安全利用の一層の意識高揚を図る。

その他の主な質疑項目

- 住宅用火災警報器の設置適合率
- 水道事業の維持に全力を傾けよ
- 新市庁舎建設と音楽ホール整備
- 消費税アップに対する不適切事務
- 公正取引委員会の指導への対応
- 地域交通での敬老乗車証利用

2019年 第3回定例会 (令和元年9月19日~10月23日)

☆渡辺ひろし一般質問

問 国内最高水準の子育て環境を目指すことを国内外に宣言し、速やかに取り組むべき。

答 子育て環境の充実に向けた施策を次期「すこやか子育てプラン」で明確に位置付け、鋭意取り組んでいく。

- 小1生活・学習サポーター
- 条例の活用状況の点検を
- 食肉市場に万全の防疫体制を
- 幹部職員の責務と心構え

会派代表質疑

公民連携の推進について

問 これからの時代のまちづくりには、行政と民間が共に創造する「共創」が不可欠。民間の提案を受け入れる総合窓口を設置するなど、「共創」の視点からの民間活力の導入に積極的に取り組むことを求めるが、所見を伺う。

答 複雑化・多様化する市政上の課題への対応には、民間の持つ知恵や技術、ノウハウと地域課題を的確に結び付ける公民連携の重要性が増すと認識しており、現在、民間からの提案等への一元的な窓口設置に向けて準備を進めている。本市の公民連携への姿勢を広く示すことで、今後、多くの民間提案がもたらされるよう取り組んでいく。

震災メモリアル施設に防災教育を機能を

問 災害発生時に家族の命を守るため、市民を対象とした災害訓練施設が必要。検討中の中心部震災メモリアル施設は、メモリアル機能も備えた防災教育センターにすべきと考えるが、いかがか。

答 防災に関する学習や訓練は、市民の防災意識の涵養のためにも重要であり、これまでも推進してきた。これらの機能とメモリアル拠点の在り方については、今後、検討委員会の議論も踏まえながら、幅広く検討していく。

その他の主な質疑項目

- 道路照明灯問題について
- 県水道事業へのコンセッション方式導入に対する本市の対応
- 音楽ホール構想を再検討すべき
- 高齢者の雇用促進への取り組み
- 教育委員会にも危機管理機能を
- 本市財政の課題と今後の方向性

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 中心部震災メモリアル拠点検討委員会における議論を市民や議会と共有すべき
- 全市を挙げてSDGsの推進体制を整備し、内外へ取り組みを発信すべき
- 図柄入りナンバープレートを原付バイクにも導入し、走る広告塔として観光振興に活用すべき

2019年 第4回定例会(平成31年12月5日~12月20日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 水道は命に関わる事業。みやぎ型管理運営方式に係る県の対応に、市長は強く意見せよ。
- 交通弱者を意識した政策と信号機のバリアフリー化推進
- 障害者の自立と保護者の高齢化、収入確保の問題への対応
- さわやか相談員・スクールカウンセラーの全校配置を
- 市スポーツ施設の駐車場増設

会派代表質疑

農業分野における災害対策について

問 台風19号により、稲わらや土砂が流出し、野菜等の農作物や農地、農業用施設に大きな被害が生じている。春の営農再開に向けた稲わら処理の状況と、農業分野における今後の災害対策について伺う。

答 稲わらについては、運搬・焼却に関する国の制度の周知に努めるとともに、市内集積所の確保や堆肥としての活用により、営農に支障のないよう処理を進めている。また、今後の災害対策については、農業用施設等の復旧に全力を注ぐとともに、国や県とも連携し、防災重点ため池等の安全対策を進める。

東北において本市が果たすべき役割

問 農水産物や自然、祭りなど、東北各地の魅力を本市が集約し国内外へ発信することは、物販の促進や交流人口の拡大、働く場の確保にもつながる。このような東北のハブ機能を担うことが本市の最大の役割と考えるが、新総合計画策定にあたっての市長の認識を伺う。

地域の活力の維持・増進のためには、東北の多様な魅力を国内外に発信していくことが、本市の果たすべき役割と認識している。東北各都市との絆を深めながら、本市が発信機能を担うことで東北全体の経済の活性化につなげ、若者が生き生きと働き、暮らすことができるよう、取り組んでいきたい。

その他の主な質疑項目

- 宮城地区西部の活性化への認識
- 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致状況
- 本市独自の宿泊税の導入について
- ガス事業民営化への市長の決意

2020年 第1回定例会(令和2年2月7日~3月12日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 新型コロナウイルス対策は最悪の事態を想定し、市民の命を守るための取り組みを
- 「若い世代に選ばれるまち仙台」を目指し、日本最高水準の子育て環境整備を
- 次期「安全安心街づくり基本計画」は、市民の声の反映と社会の変化への的確な対応を
- 板金・左官等の技術者養成に向け、行政も児童生徒の職場見学などに協力すべき

会派代表質疑

新型コロナウイルス感染症への対応

問 市内で新型コロナウイルスの感染が確認された場合に備え、不安を抱える市民により多くの情報提供を行うべき。感染症指定医療機関の受け入れ体制についても伺う。

答 適切な感染予防対策に向け、さまざまなメディア等を活用し、最新の情報提供に務める。また、感染症指定医療機関での受け入れについては、事態の推移に対応できるよう関係機関とも連携し適切な医療体制を確保していく。

都心再構築プロジェクト 第1弾施策発表後の取り組み

問 都心再構築プロジェクトの第1弾施策発表後における民間事業者の動向と、さらなる誘導に向けた今後の取り組みについて伺う。

答 昨年の施設公表以降、開発事業者等の関心は非常に高い。今後は対象エリア拡大に取り組み、相談体制等の充実を図りながら、さらなる誘導を行っていく。

その他の主な質疑項目

- 県を振り回すくらいのスピード感で政策を展開していくべき
- 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンド誘客
- 子ども医療費助成拡充の対象者拡大の範囲とさらなる充実
- 保育基盤の計画的な整備と待機児童解消への見通し
- 外国人の介護人材確保に向けた市独自の支援などの取り組み
- コミュニティ・スクールの導入効果と活用方策
- ガス事業民営化に向けた速やかな公募条件や選定基準の検討
- 今後の財政状況の見通しと財政運営の難局を乗り切る市長の決意

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

問 児童の学力向上のため、標準学力検査の活用と放課後等学習支援のさらなる充実には早急に取り組むべき。

答 各学校における課題解決のため、120校全ての小学校に学習支援員を配置し、学力の底上げを図りたい。

○無縁故者納骨堂の整備と無縁故者慰霊祭について



これからも
ふるさと
仙台のために

2019.8.26 議員章交付

初心忘るべからず

是非の初心、時々の初心、老後の初心 「花鏡」